

詩をいただきました 下瀬縫 高梨 新一さん

【うつの日も】
 触れるまなこを 恥じらいながら
 思い述べ合う 時もある
 心開いて はるかな友を
 呼んでみたいな いつの日も
 望みたやさず 歩んで行けば
 互いさとりを 燃やしてる
 夢をともして はるかな友を
 慕い続ける いつの日も
 清い流れは 願いの中に
 宿しながらも 納めてる
 愛を届けて はるかな友と
 誓い捧げる いつの日も

【生きぬく】
 日喜れまじかな 心の里も
 あすに便りを のせている
 友を慕いて 心を広く
 望みたくして 生きてゆく
 清い誓いは さだめの中へ
 秘めて愁いの 花咲かす
 友と遊んだ 想いを残し
 瞳交して 生きてゆく
 甲斐と言う名の 人生なれど
 耐えてゆくんだけ 一つの日も
 友の侍せ 忘れぬために
 誠たやさず 生きてゆく

金田風花さん ラズパイコンテスト2016で ラズベリーパイ財団賞を受賞



手のひらサイズのコンピュータ「ラズベリーパイ」を使った電子工作のコンテスト「みんなのラズパイコンテスト2016」で、矢板東付属中3年の金田風花さん（田代）が応募総数155件の中から特別賞であるラズベリーパイ財団賞を受賞しました。2年連続で同賞を受賞する快挙です。

製作作品は「百人一首自動ランダム読み上げ機」。金田さんは中学1年からプログラミングを学習していますが、中学校の百人一首大会で読み手がいなかった経験から製作を決意。製作期間は1年間、試行錯誤を繰り返すついに完成しました。「製作に長期間かかりましたが、苦勞が報われてよかった。前回受賞した動くごみ箱を実用化した」と次の目標に向けて意欲的です。

子どもの頃、毎年これだけは楽しみにして仕方なかった行事や授業はありますか。私はこの時期になると今でもうざうざしてしまう行事があります。それは、節分会です。私が育った地域の節分会は、年男年女が福銭やお供え物をまく事から、毎年たくさんの人でにぎわいます。小学生の頃、当日熱を出して行けなくなりました。ときに「私はいから代わりに行ってきた」と母に泣いてすがたつたくらい、なぜか節分会だけは行かないきやいけないものと思込んでい



中村さん 作業風景 中村さん作成の篠ざるとかご



地域おこし協力隊の
活動レポート
 中村舞子
 Vol. 14

篠を刈り、乾燥させ、材料を作り編んでいく。篠工芸もはじめて一年が経過し、一年を通して作業の流れを体験する事ができました。まだまだですが、自分で材料も作れるようになり、より一層製作が楽しくなっています。新しく興味をもつてくれる方も増え、少しずつではありますが、知ってくれている方も増えたように思います。今後は篠工芸の技術の向上はもちろん、販路の拡大や、子どもたちが伝統に触れられる機会を作る事を目標に活動していきたいと考えています。

た私。年にその日しか会わない人もいるけれど、地域全体が団結した雰囲気があり、その一員である事が感じられるこの行事が大好きでした。今でも、おはやしや鐘の音を聞くと、帰ってきたなど感じます。
 今、まちづくりに関わらせてもらっている身として、その経験があったことはとても幸せだったと思っています。伝統に興味をもったきっかけでもあります。少しでも、自分もその伝統の一員である事を感じる事ができれば、その場所、その地域への愛着につながると思います。無くなってほしくないもの、変わらないでほしいものがある場所へは、帰ろうと思ってもらえるきっかけになります。
 篠を刈り、乾燥させ、材料を作り編んでいく。篠工芸もはじめて一年が経過し、一年を通して作業の流れを体験する事ができました。まだまだですが、自分で材料も作れるようになり、より一層製作が楽しくなっています。新しく興味をもつてくれる方も増え、少しずつではありますが、知ってくれている方も増えたように思います。今後は篠工芸の技術の向上はもちろん、販路の拡大や、子どもたちが伝統に触れられる機会を作る事を目標に活動していきたいと考えています。